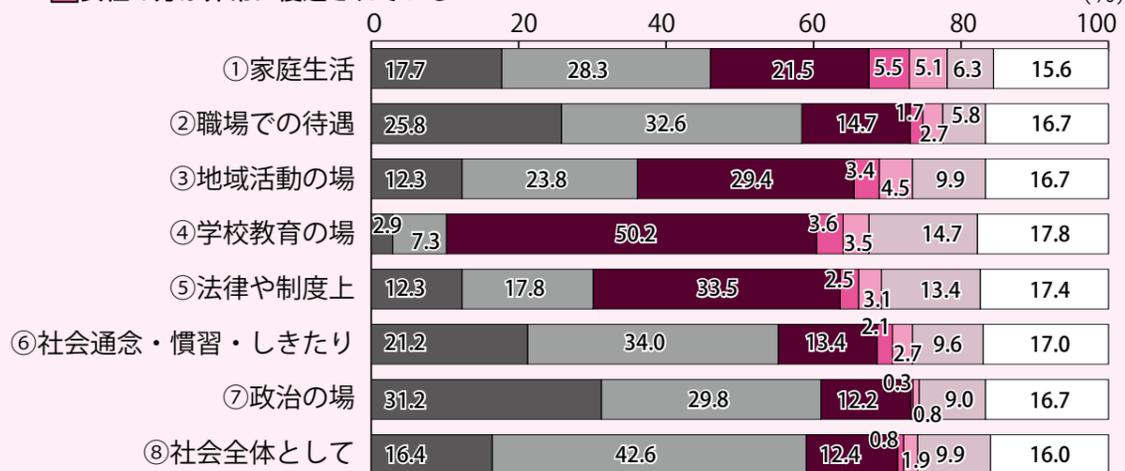


場面による男女の優遇差

■男性の方が非常に優遇されている ■どちらかと言えば女性の方が優遇されている
 ■どちらかと言えば男性の方が優遇されている ■分からない
 ■平等である ■無回答
 ■女性の方が非常に優遇されている



平成26年度市民意識調査



▲ワークショップによる課題の洗い出し

市男女共同参画プランの策定に意見を
話し合い 支え合おうよ わが家も恵那も

一人一人が自分らしく
生きられる社会を目指す

市男女共同参画プランとは、男女共同参画社会基本法第14条第3項に定められた「市町村男女共同参画計画」に位置付けられ、男女一人一人が自分らしく生きられる男女共同参画社会の実現を目指した計画です。市では、市民意識調査や市内事業所調査、学生などの若者を中心としたワークショップの開催などにより現状と課題を洗い出し、次期プランを策定しました。

三つの基本目標
意識、環境、体制づくり

男女共同参画社会を実現する上では、さまざまな分野に広がる男女差別の意識をなく

市男女共同参画プランの計画期間が本年度末で終了するため、市男女共同参画プラン策定委員会が次期「市男女共同参画プラン」の案を策定しました。ここでは概要をお知らせし、皆さんからの意見を募集します。
 □問い合わせ まちづくり推進課 26-12111 (内線523)

基本目標における施策の方向性

①意識づくり	1 男女平等・男女共同参画に関する意識啓発 2 男女平等教育などの推進 3 男女共同参画を推進する多様な学習機会の提供・情報収集 4 DV（家庭内暴力）など暴力の予防と根絶のための意識づくり 5 あらゆる暴力への対策など
②環境づくり	1 政策・方針決定過程の場への女性の参画拡大 2 就労の場における男女平等の確保 3 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現支援 4 家庭生活と地域活動への男女共同参画の促進 5 防災における男女共同参画 6 相談窓口の充実と連携強化
③安心して生活できる体制づくり	1 子育てに関する支援体制 2 生涯にわたる心と体の健康づくり 3 高齢者や障がい者（児）への支援 4 多様な家族形態や多様な生き方への理解と支援 5 多様な文化への理解と交流の促進

し、男女が輝くことのできる住みよいまちを目指すことが求められています。また少子高齢化により人口減少が進む中では、性別や年齢にかかわらず、さまざまな分野に一人

一人が参画し、持てる力を出し合い、お互いに支え合っていくことが重要です。次期プランでは、キャッチフレーズ「話し合い 支え合おうよ わが家も恵那も」の下、三つの基本目標を掲げ、男女共同参画社会実現に向けた今後の施策の方向性を定めました。

①意識づくり
性別に関わりなく男女が共に輝くことのできる社会を形成するためには、その根本となる人権を尊重できる人づくりが大切です。DV（家庭内暴力）や性差別などにより起こる暴力を許さない意識づくりをはじめ、性別による固定的な役割分担意識が個人の生き方を狭めることのないよう広報・啓発し、男女共同参画に関する意識の定着を図ります。

②環境づくり
平成26年度市民意識調査によると、場面による男女の優遇差では「政治の場において」優遇差を感じている割合が最も高く、特に男性が優遇されていると感じている割合は6割を超えています。また「社会全体として」や「職場での

計画(案)へ意見を

市では、市民の皆さんの意見を計画に反映させるため、市男女共同参画プラン（案）への意見を募集します。
 プラン案は、まちづくり推進課や情報公開コーナー、各振興事務所、市中央図書館で閲覧できます。市ウェブサイト (<http://www.city.ena.lg.jp>) にも掲載しています。
 □提出方法 表題を「男女共同参画プラン」とし、郵便かファクス、電子メールで①氏名②住所③連絡先を明記の上、お寄せください。
 □締め切り 2月5日(金)
 □提出先 〒509-7292 (住所不要) まちづくり推進課 ☎25-8208
 ✉machisuishin@city.ena.lg.jp
 □問い合わせ まちづくり推進課(内線523)

待遇」などで平等であると感じている割合が2割を切るなど、性別による差別が感じられる環境は多くあります。そのため市民一人一人に個性と能力を発揮できる機会が確保されるよう、家庭や職場、地域活動の場などあらゆる分野において、男女が参画できる環境づくりを進めます。

③安心して生活できる体制づくり
健康で安心して心豊かに暮らせる社会をつくることは、男女共同参画社会を推進する上で重要であり、心身両面から健康づくりを支援していく他、生涯を通じて健やかに暮らすための体制づくりが必要です。そのために、子育て支援体制の強化、高齢者や障がい者への支援体制づくり、ひとり親家庭など多様な家族形態への支援などの生活基盤づくりを進めていきます。また性意識の違いによる異なった生き方への理解や国籍による文化の違いへの理解など、一人一人が自分らしく健やかに暮らせる恵那市を目指すため、幅広い視点による体制づくりを進めていきます。